

『子平大全』訂正箇所

2009年10月31日(土)までに発送・講座会場にて販売させていただいた版に訂正箇所がございました。謹んでお詫び申し上げます。

	誤	正
P34_表中	世 三十日	世 三十年
P106_3 行目	不及一事 半功倍	不及一事 倍功半
P106_9 行目	庚の「倒」は己、 辛の「倒」は己 、壬の「倒」は庚辛、	庚の「倒」は己、壬の「倒」は庚辛、 (削除： 辛の「倒」は己)
P116_11 行目	仰人鼻息	忌神 －仰人鼻息 (挿入： 忌神 －)
P137_2 行目	第二 運以降の大運は、	第一 運以降の大運は、
P141_12 行目	結果として「 大忌 」と言えます。	結果として「 中忌 」と言えます。
P142_11 行目	己と 年 干乙の関係は、	己と 月 干乙の関係は、
P142_14 行目	結果として喜神運で「 中喜 」と言えます。	結果として喜神運で「 大喜 」と言えます。
P146_12 行目	54 己● +1	54 己● +4
13 行目	64 戊● +1	64 戊● +4
P150_4-5 行目	忌神戊己の根ますが、「 中忌 」。	忌神戊己の根 となり 、「 小忌 」。
P150_6 行目	丁は従神ですが無作用で「 中喜 」。	丁は従神ですが無作用で「 小喜 」。
P157_3 行目	4 癸◎3合 9 申△1	4 癸◎3合 9 酉×0合
4 行目	14 壬●4 19 酉×0合	14 壬●4 19 申△1
5 行目	24 辛◎3 29 未○1	24 辛◎3 29 未○2
11 行目	84 乙X 89 丑△1合	84 乙X -1 89 丑△1合
P158_11 行目	喜神の甲を弱めるので1点。	喜神の甲を弱めるので マイナス 1点。
P168_2 行目	64 丁◎亥△	64 丁○亥△
3 行目	65 戊◎子X	65 戊○子X
P178 4 行目	利益 に ために	利益 の ために
P179_2 行目	忌神なら心が 非常 で酷い	忌神なら心が 非情 で酷い
P187_2 行目	辛酉運は、前三二九七年～二九三八年	辛酉運は、前三二九七年～ 前 二九三八年
3 行目	壬戌運は、前二九三七年～二五七八年	壬戌運は、前二九三七年～ 前 二五七八年
4 行目	癸亥運は、前二五七七年～二二一八年	癸亥運は、前二五七七年～ 前 二二一八年
14 行目	辛未運は、 前 三〇四年～六六三年	辛未運は、三〇四年～六六三年
188_13 行目	甲子 分	庚午 分
14 行目	丙寅 秒	辛未 秒
194_7 行目	四神 2	四神 3
8 行目	喜神 -1	喜神 0
196_7 行目	四神 1	四神 2
8 行目	喜神 0	喜神 1
198_7-9 行目	(体神の位置) 月干→ 年干 (用神の位置) 日干→ 月干	
198_7 行目	体神 -1	体神 1

8行目	用神 1 四神 0	用神 -1 四神 1
9行目	喜神 -1	喜神 0
199_8-9行目	(体神の位置) →日干 (用神の位置) 日干→時干	
202_7行目	行楽	幸楽
203_11行目	また運支は喜神の絶であり、経済でまずいことがあれば、すぐに方針を転換して改善します。	運支は忌神の絶であり、経済政策は行き当たりばったりになりがちです。
205_7行目	(用神の位置) 月干→時干	
206_12行目	用神も喜神ですから合計0点、	用神も喜神、
216_12行目	四神 0	四神 -1
14行目	忌神 1	忌神 0
218_2行目	四神 0	四神 -2
4行目	忌神 1	忌神 -1
241_2行目 別表参照	庚辰方は、秀・死の半喜で、秀の良さも、死の悪さも出ません。	庚辰方は、秀・死の中忌で、自分の力量を弁えず身の程知らずに振舞い、知識や技術があっても、器用貧乏で行き詰まります。
241_9行目	(挿入) 乙亥方は、官殺・冠帯の中喜で、どんどん出世し、屈辱に耐えられ、見栄えがよく、パフォーマンスしやすいものです。	
269_6行目	一日十行で高峰に達す	一日十行で高峰に達す
315_終行	中間の石に	基礎の石に
316_2行目		

西暦 2009年(2009) 11月 方位月盤

傷 辛XX -1 墓 巳△	抗 壬◎ 1 絶 午△	財権役 癸◎ 3 胎 未◎	空亡 0 養 申△
秀傷 庚XX -2 死 辰×	子平弁方		空亡 0 生 酉△
比劫 己XX 0 病 卯◎	旬首甲戌		官 甲◎ 0 浴 戌XX
助 戊×	印 丁XX -2 旺 丑XX	印 丙○ 2 禄 子◎	官殺 乙◎ 2 帶 亥◎
衰 寅◎			